

626号 東部地域畜産経営技術推進指導協議会 富山県東部家畜保健衛生所 西部地域畜産経営技術推進指導協議会 富山県西部家畜保健衛生所 2021.7.10

☆簡易放牧始まる	1	☆令和2年度富山県畜産関係業績・成果発表会開催	4
☆豚熱・アフリカ豚熱の発生状況 ☆飼養衛生管理推進会議開催される	2	☆ランピースキン病 ☆農家さん期待の若手	5
☆豚丹毒菌による疾病は豚だけではありません	3	☆防疫情報 ☆青沼光さん聖火つなぐ ☆北陸三県和子牛市場の開催	6

## 簡易放牧始まる



南砺市小院瀬見地区



黒部市阿古屋野地区

今年も簡易放牧が始まりました。6月18日には西部管内の南砺市小院瀬見地区で2頭が、また、東部管内では黒部市内の阿古屋野と内山の2地区でそれぞれ2頭が放牧されました。景観保全や獣害対策、放牧を活用した飼料コスト削減等を目的として、耕作放棄地等で初夏から秋口まで放牧が行われます。

今年度も、富山市、黒部市、立山町、氷見市、小矢部市、南砺市の5市1町30か所ほどで放牧が予定されており、遅くとも7月までに順次牛が放牧される予定です。長年にわたって放牧がおこなわれている地域では、放牧が根付いており、里山の景色として親しまれています。放牧を支えて頂いている、畜主並びに放牧管理をしていただいている地元の皆様や関係者に感謝申し上げます。

(西部家保環境課 加納上席専門員)

# 豚熱・アフリカ豚熱の発生状況

## <豚熱について>

国内における豚熱の発生状況は、6月は発生が無く、これまで15府県68事例です（※）。

一方、野生いのししにおける感染は東北へ拡大しています。6月11日に、宮城県の福島県境に位置する七ヶ宿町において死亡野生いのししで豚熱が確認されました。隣接する岩手県及び青森県へのウイルス侵入リスクの増大につながる可能性が考えられるため、両県が新たに豚へのワクチン接種推奨地域に設定され、6月16日現在、32都府県となりました。（下図参照）



（※）大阪府と滋賀県は、疫学関連農場でのみ、豚で感染確認あり。

- 飼育豚及び野生いのしし、両方で陽性発生県：12 県  
岐阜県、愛知県、三重県、長野県、福井県、群馬県、埼玉県、山梨県、栃木県、奈良県、和歌山県、山形県
- 野生いのししのみで陽性発生県：13 都府県  
富山県、石川県、滋賀県、静岡県、茨城県、東京都、神奈川県、新潟県、京都府、大阪府、兵庫県、福島県、宮城県
- 発生は無いが発生地に隣接する県：6 県  
千葉県、秋田県、鳥取県、岡山県、岩手県、青森県
- 飼育豚のみでの陽性発生県：1 県 沖縄県

## <アフリカ豚熱について>

アフリカ豚熱は、直近では6月2日にマレーシアで発生するなど、アジアの広範囲で感染が拡大しています。また、6月11日ベトナム発福岡空港着の航空機の旅客が所持していたソーセイジからアフリカ豚熱ウイルス遺伝子が確認されました。空海港における動物検疫所による水際検疫で侵入を阻止していますが、アフリカ豚熱はワクチンが開発されておらず、一旦我が国へ侵入した場合、たいへんな脅威となります。

養豚農家の皆様におかれましては、これらウイルスの農場侵入防止のため飼養衛生管理基準を遵守し、豚に異状が認められた場合は早期通報をお願いいたします。

（西部家保防疫課 伊勢係長）

## 飼養衛生管理推進会議開催される

令和3年6月3日に農林水産省と各都道府県、地方農政局をオンラインで繋いで飼養衛生管理推進会議が開催されました。この会議は、高病原性鳥インフルエンザの国内で大規模な発生があったことやワクチン接種農場において豚熱が確認されたことから、農林水産省が飼養衛生管理指導體制の強化を図るための取組に係る説明を行うため、開催したものです。

発生予防対策の課題として、発生状況の分析から、①飼養衛生管理基準（以下、「基準」）の遵守について、生産者によって大きな差があること、②農場の作業従事者が十分に基準を理解していないこと、③豚熱についてワクチン接種が一定程度進んだこともあり、基準遵守への意識が低下しているおそれがあり、獣医師による県への通報が遅れる事例が見られたこと、④基準を遵守しない生産者に対する、指導・助言・勧告・命令・公表等の制度が十分に活用されないこと、の4点が挙げられました。

また、必要な対応として「補助事業・制度資金における基準の遵守を要件とするクロスコンプライアンスの導入」が、新たに盛り込まれました。畜産クラスター事業実施要領において、「事業実施主体その他本事業による給付又は助成を受ける者は、本事業の実施に当たり、（中略）、本事業に関係する法令・規程等を遵守するとともに、取組主体が本事業に関係する法令・規程等を遵守していることの確認等を行い、適正に事業を実施するものとする。」と規定されており、家畜伝染病予防法も本事業に関係する法令と位置づけられています。

生産者の皆様におかれましては、今一度、基準の遵守の取組みについて徹底をお願いします。

（西部家保防疫課 蓮沼課長）

## 豚丹毒菌による疾病は豚だけではありません

豚の病気として知られている豚丹毒は豚丹毒菌(*Erysipelothrix rhusiopathiae*)を原因菌とした感染症で、ヒトでは類丹毒と呼ばれる人獣共通感染症です。その他の感染宿主は牛、めん山羊、馬、犬、鶏、七面鳥、野鳥、イルカ、アザラシ等で、宿主域が広いことが知られています。その中で、鶏の豚丹毒菌感染症が管内で発生しましたので、その概要をご紹介します。

鶏の豚丹毒菌感染症は虚弱化、元気消失、下痢および突然死等の症状を呈します。豚丹毒菌は土壌等の環境周囲に広く分布し、長期間にわたり生存する特性を有することから、感染経路は皮膚または粘膜面からの創傷感染の可能性が高いと考えられています。誘発原因として密飼いや換羽などのストレスが指摘されています。しかし、我が国での鶏での発生報告は、1979年に3件、2008年に1件と少なく、その病態やメカニズムについては明らかにされていません。

一採卵鶏平飼鶏舎にて死亡した鶏の病性鑑定を実施したところ、外貌は肉冠の貧血と先端壊死、脱羽および下痢を呈する個体が見られ、解剖所見では、肝臓、脾臓及び腎臓の腫大を呈する個体が多く、腹水の貯留、気囊混濁、卵胞の形成異常を呈する個体も数羽認められました(写真)。さらに、主要臓器、脳及び卵巣から豚丹毒菌が分離されました。

豚丹毒菌は土壌など環境周囲に広く分布しているため、イノシシ等の野生動物が農場内に持ち込んだ可能性が示唆されます。また、脱羽が見られる鶏が多く、つつき等により経皮感染を助長したと考えられます。

今回は鶏の豚丹毒菌感染症というあまり発生のない感染症についての事例でしたが、どの動物に対する感染症も、病原体の畜舎内への侵入を防ぐことがとても重要となります。今一度飼養衛生管理基準が守られているか点検し、野生動物侵入防止対策や鶏舎専用の長靴の着用などの対策を徹底していただきますよう、お願いします。



肉冠の貧血、先端壊死



肝臓腫大、腹水の貯留



脾臓腫大、気囊混濁



卵胞の形成異常

(西部家保検査課 木全主任)

# 令和2年度富山県畜産関係業績・成果発表会開催

令和2年度富山県畜産関係業績・成果発表会は本年2月に開催予定でしたが、県内の養鶏場でHPAIが発生したことや、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い延期され、7月2日（金）に富山県民会館で開催されました。今回は規模を縮小し、新型コロナウイルス対策を徹底しての開催となりました。

（演題名及び発表者等は下表のとおり）。



発表会の様子

## 家畜保健衛生所（○：第62回東海・北陸ブロック家畜保健衛生業績発表会選出演題）

	演題名	家保	発表者
1	肉用牛農家における牛伝染性リンパ腫清浄化への取組み	西部	渡辺 健太
2	受精卵移植を活用した増頭支援対策とその成果	西部	田知 慶久
③	石灰剤の消毒効果モニタリングを活用した採卵鶏農場におけるサルモネラ清浄化への取組み	西部	小林 歩
4	黒毛和種子牛に発生した腸管外病原性大腸菌症の一症例	西部	増永 梢
5	免疫付与率向上に向けた豚熱ワクチン接種適期の検討	東部	水木 亮史
⑥	管内養豚場で分離された <i>Salmonella</i> Typhimurium 及び 4:i:- の細菌学的解析	東部	竹中 悠人
7	野生いのししの豚熱ウイルス遺伝子検査の効率化に関する考察	東部	藤井 晃太郎
⑧	採卵鶏農場で発生した鶏の豚丹毒菌感染症	西部	木全 綾

## 農業技術課広域普及指導センター

1	規模拡大する酪農経営体におけるスマート農業技術の活用 ～センサー&AIでGo To 省力化～	五箇 大成
2	発育良好な和子牛生産に向けての取組み	田所 百愛

## 農林水産総合技術センター畜産研究所

1	葛根湯残渣を活用した牛舎敷料利用	稲葉 真
---	------------------	------

家畜保健衛生所の発表のうち、7月に愛知県において書類審査で開催する第62回東海・北陸ブロック家畜保健衛生業績発表会に選出された3題の概要は以下のとおりです。

〈演題番号3〉ウインドレス鶏舎においてサルモネラ属菌が検出され、ふき取り検査の結果、鶏舎奥側に汚染箇所が集中。鶏舎床面に散布されていた石灰剤は鶏舎奥側ほど薄く、pHは8と消毒効果が消失していた。一方、石灰剤の消毒効果の持続性を検証したところ、風及び熱を加えた石灰剤は剥離しやすくなり、鶏糞存在下で早く消毒効果を失うことが判明。鶏舎奥側は換気扇や集糞ベルトの終末が位置し、風や鶏糞の影響を受けるため、石灰剤の効果が早期に失活したと考えられ、より頻繁な石灰剤の散布を指導した結果、サルモネラ属菌は検出されなくなった。客観的な検証結果を定期的に提示することで従業員の衛生意識が高まり、自主的に石灰剤を散布したことが短期間の清浄化につながったと考えられた。スティック pH 試験紙による pH 測定は簡便なため、従業員が行う衛生チェックへの活用も期待された。

〈演題番号6〉届出伝染病の病原菌である *Salmonella* Typhimurium の変異株（血清型 4:i:-）が2戸の養豚場において10年前から分離されており、全国的にも分離頻度が上昇。分離株34株について細菌学的解析を行ったところ、34株中15株がST、19株が4:i:-で、年代別では2011年～2015年の29%から、2016年～2020年の75%に大幅に増加しており、全国的な傾向と一致。一方、STのSNP型（遺伝子型）は全国的に9型が最も多いとされるが分離株すべてが3型であったことや、3型における4:i:-の割合は7%であったとする報告があるが分離株において3型の半数を4:i:-が占めたことは、本県分離株の特徴であった。また、2011年以降に分離された菌株の多くが多剤耐性を示し、両農場が飼料添加するアンピシリンに耐性を示したことから、抗菌剤の慎重利用の必要性が改めて認識された。

〈演題番号8〉豚丹毒菌は様々な動物に感染し、感染経路は創傷感染の可能性が高いと考えられているものの、不明な点も多い。管内の採卵養鶏場において死亡羽数が4.6%と増加したため病性鑑定を行ったところ、肝臓、脾臓および腎臓の腫大が目立ち、主要臓器等からグラム陽性桿菌を分離、同定キットとPCRにより豚丹毒菌と同定した。血清型はすべて1bであった。当該農場は飼養環境の悪化によるストレスに加え、被害が大きかった区画では脱羽の顕著な鶏が多かったことから、つつきあいによる経皮感染や不衛生な給餌器・水トイが感染被害拡大を助長した可能性が考えられた。また、農場はいのしし等の野生動物が多い地域に位置するうえ、鶏舎専用の長靴がなく、人が鶏舎内に病原菌を持ち込んだ可能性が考えられたことから、飼養衛生管理基準の遵守徹底により発生予防に努めるべきと考えられた。

（西部家保環境課 神吉課長）

# ランピースキン病

気温の高い日が続き、節足動物（ハエ、カ、ダニ等）も増える季節になってきました。これらの媒介節足動物によりウイルス感染する“ランピースキン病”という病気をご存じでしょうか？

牛や水牛に感染し、発熱や食欲不振や鼻漏、流涎などの症状を呈し、頸部や背中、脚や外陰部に0.5～5cmほどの結節が多数形成されます(右写真)。海外の伝染病であり、日本では届出伝染病に指定されています。感染経路は主に感染牛の唾液との接触ですが、節足動物の媒介により伝播することも考えられます。また現在、有効な治療法はありません。

以前はアフリカや中東での発生報告がほとんどでしたが、昨年6月に中国で発生が確認されて以来、台湾やタイ等の東南アジア地域に感染が拡大しています。日本での発生は確認されておきませんが、今後媒介節足動物の飛来により国内に侵入してくる可能性も十分にあります。疑わしい症状を発見した際には早急に家畜保健衛生所に連絡いただきますようお願いいたします。

(西部家保防疫課 増永主任)



出典：台湾行政院農業委員会、FAOホームページ

## 農家さん期待の若手

本年4月から水元佑治さん(24歳)が、氷見市余川の肉用牛農家、舟塚畜産(株)で働いています。佑治さんは、氷見市藪田で昨年まで肉用牛農家を営んでいた水元次さんのお孫さんです。高齢化が進む畜産業界で、貴重な若い人材が仲間入りしましたので、経緯や意気込みを伺ってきました。

### ～農業との出会い～

小さいころから動物好きで、祖父の牛舎の中でよく遊んでいましたが、その後も畜産という仕事を自分の将来として意識することはなく、大学は水産学部へ進みました。勉強の傍ら、将来について考えるなかで農業に興味を持ちはじめ、酪農家で牛の世話をするアルバイトもしました。

### ～畜産へ転身～

卒業後は農薬卸会社に就職したものの、自分の手で農業をやりたいという気持ちが強くなり、その頃結婚したばかりの妻も自分の夢を後押ししてくれたことから、思い切って「子供のころから身近だった肉用牛農家で働きたい」と広域普及指導センターに相談し、舟塚畜産(株)への転職が決まりました。

### ～実際に働いてみて～

肉体労働が多い印象のある畜産業界ですが、もともとバスケットボールをしていたので体を動かすことが好きで、牛舎での作業は全く苦になりません。毎日動物と触れあえることもあり、就農から2か月ほど経った今でも毎日楽しく働いています。

### ～将来の目標～

今は農業機械の操作から牛の育て方まで1から勉強していて、覚えることが多く大変ですが、自分の農場を持ち、牛を出荷することを目標に日々がんばっています。

佑治さんは身長189センチと大柄ですが物腰の柔らかな好青年という印象でした。氷見牛並びに富山県の畜産が、若い力によってますます盛り上がっていくことを期待しています。

(西部家保環境課 神吉課長)



# 防疫情報

## 県内の主な家畜伝染性疾病の発生

病名	畜種	発生日	戸数	頭羽数	備考
牛パストツレラ症	牛	6月21日	1	9	
豚繁殖・呼吸障害症候群（届出伝染病）	豚	6月4日	1	3	
豚丹毒（届出伝染病）	豚	5月27日	1	1	と畜場発見
		6月4日	1	1	
山羊のコクシジウム病	山羊	5月25日	1	1	
		5月29日	1	1	

## 青沼光さん聖火つなぐ

6月2日（水）、高岡市の青沼光さん（clover farm・酪農家）が、高岡スポーツコア多目的広場で東京2020オリンピック聖火リレーの富山県1日目に参加し、見事聖火をつなぐ大役を果たされました。富山県の聖火リレーは公道での実施が中止され、無観客のイベント（トーチキスリレー）として開催されました。



青沼さんはコメントの中で、「富山の酪農業は縮小傾向にあるが、今後も富山の酪農業が続いていくよう、自分と同じように新規参入を目指す若い世代を育成・支援します」との力強いメッセージを発信していました。当日の様子はNHKの特設ウェブサイト「東京2020オリンピック聖火リレーライブストーリーミング」で視聴することができます。

（西部家保環境課 神吉課長）

## 北陸三県和子牛市場の開催

6月24日、金沢市において北陸三県和子牛市場が開催されました。今回の市場では、各県から令和4年10月に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会の出品に合わせた候補牛（8区 去勢肥育牛）が出場することもあり、多数の来場者で賑わっていました。そのため、出品候補牛では、市場平均価格を超える高値で取引され、1,000千円を超える取引も全体で5頭あったため、購買者にとっては手に汗握るセリになったのではないのでしょうか。富山県の候補牛についても、県内の肥育農家に買い取られたため、今後の肥育仕上げが期待されます。一方、市場平均価格は、前回よりも軒並み減少しており、今後の変動にも注視する必要があります。

市場の結果は以下のとおりです（上：平均、下：最高価格の牛の詳細）。

	平均価格 (千円)	平均日齢 (日)	平均体重 (kg)	前回平均価格 (千円)	平均価格の対前回増減率 (%)
全体	650	264	287	697	-6.8
去勢	704	260	296	757	-7.0
雌	576	271	274	638	-9.7

	最高価格 (千円)	日齢 (日)	体重 (kg)	父	母の父	母の祖父	備考
去勢	1,237	253	308	愛之国	安福久	平茂勝	
雌	767	287	389	福之姫	安福久	平茂勝	受精卵

※価格は税抜き。

（東部家保環境課 米澤主任）

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 [http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1687/](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/)  
 〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6 電話(076)479-1106 F A X (076)479-1140  
 編集者 神吉 武（富山県西部家畜保健衛生所）